

開講コース

AI中級コース

人の知性と、機械の振る舞いとの関係を考察し、人の活動の定式化による人工知能システムの設計について実践的に学習します。人工知能に使われるアルゴリズムの処理と特徴について、基本知識と概要を理解すると共に、Pythonの文法を学習します。その後、簡単なプログラムを実際に設計します。

次世代経営向け先端技術学習コース

変化が激しい社会・経済環境を読み解くポイントや見極めていく方法について議論します。そして、これから生産性を高めていく際に重要な取組となる「データサイエンス」の基礎と事例データの活用方法、および「ロボット技術」の実用として産業用ロボットや組み立て用ロボットの事例を学びます。また、労働集約型産業から知識集約型産業への転換に伴う働き方についても考えます。

コース全体のまとめとして、先端技術を経営に生かすための考え方や視点について議論します。

授業は、eラーニング(ビデオ学習)と対面授業・演習を組み合わせた反転授業方式で進めていきます。eラーニング部分は「いつでも・どこでも・何度でも」学習可能であり、忙しい仕事の合間の時間で学習することが可能です。

受講資格者

高校卒業以上、及びそれと同等の学力があるとみなされた社会人の方
(AI中級コースについては、線形代数、確率統計、微積分の基礎を習得していることが望ましいです。)

募集人数

各コース 25人

授業実施場所

和歌山大学西5号館(学術情報センター) 1階第1演習室
(〒640-8510 和歌山市栄谷930番地)

受講料

各コース 50,000円(振込用紙により所定の期日までに振り込み)

募集締切

2021年11月30日(火)17時 必着 募集期間:2021年11月8日(月)~11月30日(火)

※講座内容や申請方法など詳細は別途「社会人向け先端技術教育講座 受講生募集要項」をご覧ください。

社会人向け

和歌山大学先端技術教育講座 2021

(高度先端技術リカレント教育事業)

働きながら最新の知識を習得し、
専門性をより高める学びを



先端技術

NEWコース!

先端技術を理解し、生かし方を探る

世の中の変化が激しい現在、さまざまなデータの分析や統計を含む先端技術への理解は業種を問わず必要になりました。特に産業界では、新しく有用な技術を知り、データでエビデンスを取ることの大切さやデータを利活用する重要性への理解を深めることが、今後の経営を支える力となる可能性が高いのではないのでしょうか。

基礎から演習、活用事例まで総合的に

本コースでは、最新の社会のトレンドや経済環境を読み解くとともに、将来の生産性を高める重要な要素となりえる「データサイエンス」や「ロボット技術」、そして知識集約型産業への転換に伴う戦略的な人材管理について学びを深めます。「データサイエンス」ではデータを加工して簡単な分析ができるよう演習します。「ロボット技術」では産業用ロボットの基礎のほか導入企業事例をご紹介します。

変革力を身に付け、将来の力へ

技術の具体的な知識を持っていただいた上で、人材管理や大学との連携、これから求められる経営者像を考えるプログラムのため、基礎から総合的な視点の持ち方まで幅広い知識が身に付きます。外部環境が激変する中で新潮流を捉え対応していくには、社内の変革力が問われます。そして変革には、知識と理解が非常に重要な役割を果たします。本コースでの学びに加え、受講生の皆さん同士の会話から生まれる情報交換も有益なものになるはずです。これからの経営力アップのために、ぜひこの貴重な場で一緒に学びましょう。

|| 次世代経営向け先端技術学習コース担当

足立 基浩(経済学部 経済学科 教授)

伊原 彰紀(システム工学部 社会情報学メジャー 講師)

土橋 宏規(システム工学部 機械電子制御メジャー 講師)

恵下 隆(理事/産学連携イノベーションセンター長)

教員からの

メッセージ動画



AI開発環境を構築し
Pythonを実践的に使える
人材へスキルアップしましょう

|| AI中級コース担当

松田 憲幸(システム工学部 知能情報学メジャー 准教授)

教員からの

メッセージ動画



人工知能

|| 高度先端技術リカレント教育事業とは

近年AIやIOT、ロボットをはじめとする急速な技術革新が進みつつあり、今後は産業にも大きな変化がもたらされると考えられます。そこで必要になるのが社会人の先端技術の知識習得や学び直しです。和歌山大学のリカレント教育課程では、県内の技術職に就く方々が新しい知識の習得によって仕事の幅を広げたり質を高めたりできるようサポートします。

|| リカレント教育を受けるメリット

最新の技術・考え方の習得により、一人ひとりのスキルが上がり、仕事に生かすことが可能に。刺激を受けることによるモチベーションアップも期待できます。また、和歌山大学だけでなく共に学ぶ受講生同士で交流が生まれ、イノベーションが起こったり連携が始まったりと知識以外の人脈も持ち帰ることができます。



激変する社会、経済環境を
先端技術で生産性を高め、
乗り切っていきましょう